

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察注意報について

令和5年度病害虫発生予察注意報第4号を発表したので送付します。

令和5年度病害虫発生予察注意報第4号

- 1 作物名 キャベツ
- 2 害虫名 コナガ
- 3 発生地域 沖縄本島（南部地域）

4 注意報発令の根拠

沖縄本島（南部地域）における11月のほ場調査の結果、本種の寄生虫数は0.64頭/株（例年：0.05頭/株）、発生ほ場率80.0%（例年：33.3%）となり、例年の推移と比べ多発生となった（図1）。今後は暖冬の予報もあり、発生の増加が懸念されることから注意報を発令する。

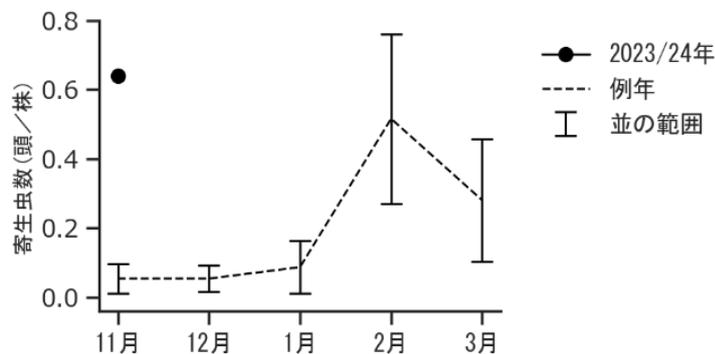


図1 株当たり寄生虫数の今期と例年の推移

5 発生生態および被害

- (1) 成虫は体長6mm前後の小型の蛾で、細長い形をしており日中に活動する（図2）。
- (2) 卵は直径0.5mm弱で、肉眼での発見は困難であり、茎葉上に1つ点在して産み付けられる。
- (3) 幼虫は緑色で4齢を経過すると体長10mm程になり（図3）、葉裏に中が透けて見える程の薄い繭を作り、その中で蛹となる（図4）。
- (4) 年間10数世代を繰り返す、繁殖力が高いためいったん発生すると急激に密度が増加し、各ステージが常に混在するようになる。
- (5) 1齢幼虫は葉肉内を、2齢からは葉の裏から表皮を残すように加害する（図5）。
- (6) 多発すると新芽の加害による芯止まりや、結球の遅れを引き起こす（図6）。
- (7) 幼虫は多くのアブラナ科植物を加害する。

6 防除上注意すべき事項

- (1) 発生源となりうるアブラナ科雑草の除去および、収穫後の残さ処理に努める。
- (2) 卵・蛹に対する薬剤の効果は低く、かつ幼虫の薬剤抵抗性の発達は著しく早い。そのため、生育初期の密度の低い時期から防除を徹底し、同一薬剤の連用は避ける。



図2 コナガ (成虫)



図3 コナガ (幼虫)



図4 コナガ (蛹)



図5 葉の加害状況



図6 多発時の状況

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★
TEL : (本所)098-886-3880、(宮古駐在)0980-73-2634、(八重山駐在)0980-82-4933
ホームページアドレス : <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>